

2024年度 上級生アンケート【国際教養学部】集計結果

このアンケートは、2年生～3年生の上級生を対象に「どのような意欲を持っているか」及び「何を身につけたか」、
「どのようなスタンスで学修し、どの程度学修に時間を割いているか」を問うものです。

- 実施期間：2025年1月27日～2025年3月14日
- 対象学生：アンケート開始時点で在籍している2～3年生（※休停学、留学中の学生は除く）

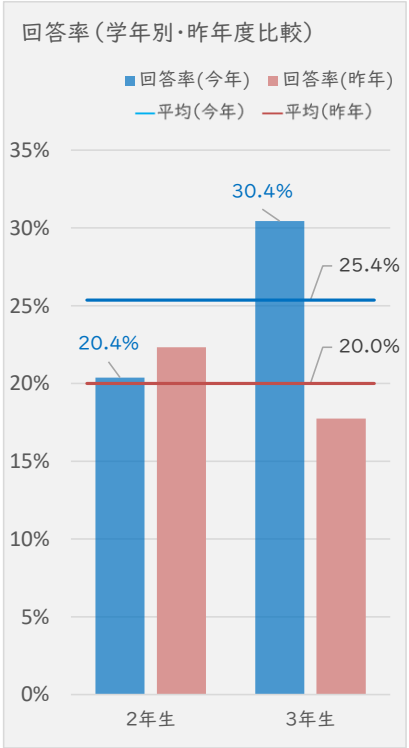
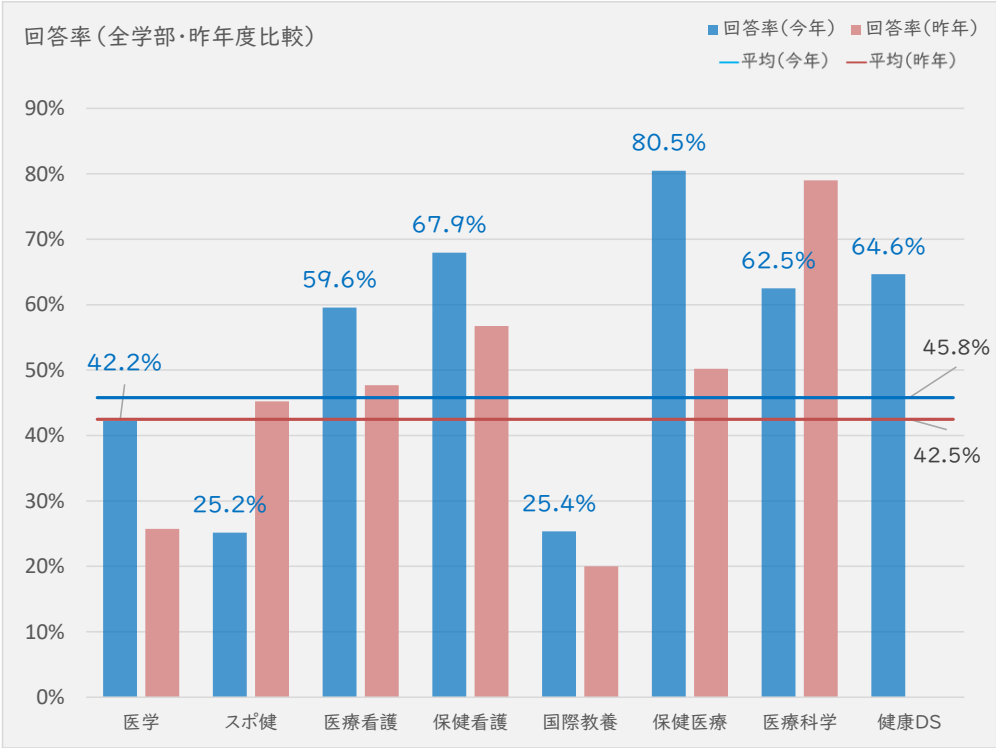
■回答率

上級生アンケート	今年度								昨年度		
	回答率	(昨年比)	許容誤差*	回答者	(昨年比)	未回答者	対象者	(昨年比)	回答率	回答者	対象者
医学部	42.23%	(+16.50%)	4.90%	231名	(+90名)	316名	547名	(-1名)	25.73%	141名	548名
スポーツ健康科学部	25.16%	(-20.06%)	4.83%	308名	(-241名)	916名	1224名	(+10名)	45.22%	549名	1214名
医療看護学部	59.57%	(+11.87%)	3.93%	252名	(+55名)	171名	423名	(+10名)	47.70%	197名	413名
保健看護学部	67.94%	(+11.19%)	4.16%	178名	(+35名)	84名	262名	(+10名)	56.75%	143名	252名
国際教養学部	25.36%	(+5.36%)	8.22%	106名	(+15名)	312名	418名	(-37名)	20.00%	91名	455名
保健医療学部	80.47%	(+30.26%)	2.22%	379名	(+138名)	92名	471名	(-9名)	50.21%	241名	480名
医療科学部	62.50%	(-16.51%)	4.05%	220名	(+77名)	132名	352名	(+171名)	79.01%	143名	181名
健康データサイエンス学部	64.65%	—	7.28%	64名	—	35名	99名	—	—	—	—
★全学部合計(平均)	45.79%	(+3.31%)	1.73%	1738名	(+169名)	2058名	3796名	(+154名)	42.48%	1505名	3543名

国際教養学部 (学年別)	今年度								昨年度		
	回答率	(昨年比)	許容誤差*	回答者	(昨年比)	未回答者	対象者	(昨年比)	回答率	回答者	対象者
2年生	20.38%	(-1.94%)	13.34%	43名	(-7名)	168名	211名	(-13名)	22.32%	50名	224名
3年生	30.43%	(+12.69%)	10.30%	63名	(+22名)	144名	207名	(-24名)	17.75%	41名	231名
★学部合計(平均)	25.36%	(+5.36%)	8.22%	106名	(+15名)	312名	418名	(-37名)	20.00%	91名	455名

- ※ 許容誤差：信頼水準95%の場合、母集団からどの位の誤差が生じているかを表す指標（推奨目安：5%以内）
- ※ 新設学部・新学年：医療科学部にとって、2024年度が初の3年生／健康データサイエンス学部にとって、2024年度が初の2年生
- ※ 表内色種：上位1項目：緑背景、平均以下：赤背景

▼国際教養学部



■ アンケート結果

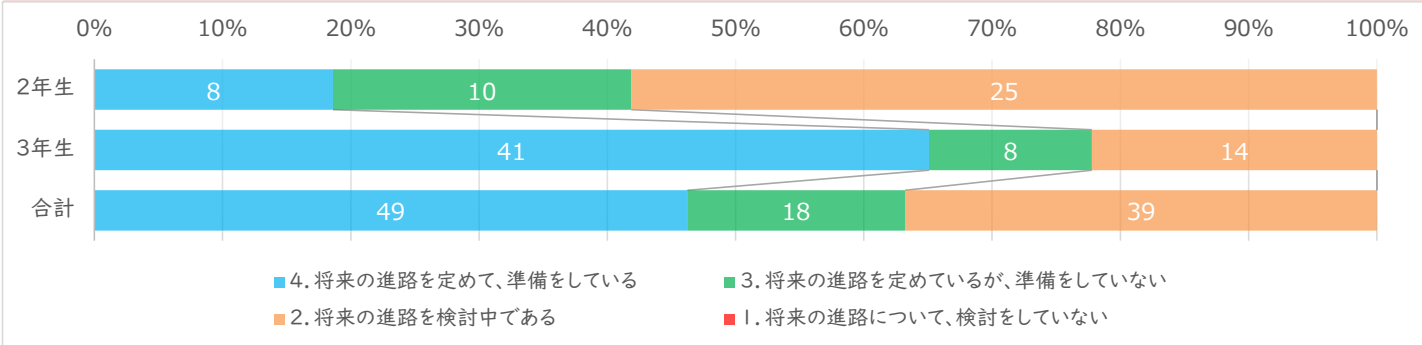
※グラフ中の数値は回答数

【1. 意欲に関する設問】

Q1-01. 将来の進路を見据えて、準備をしていますか。

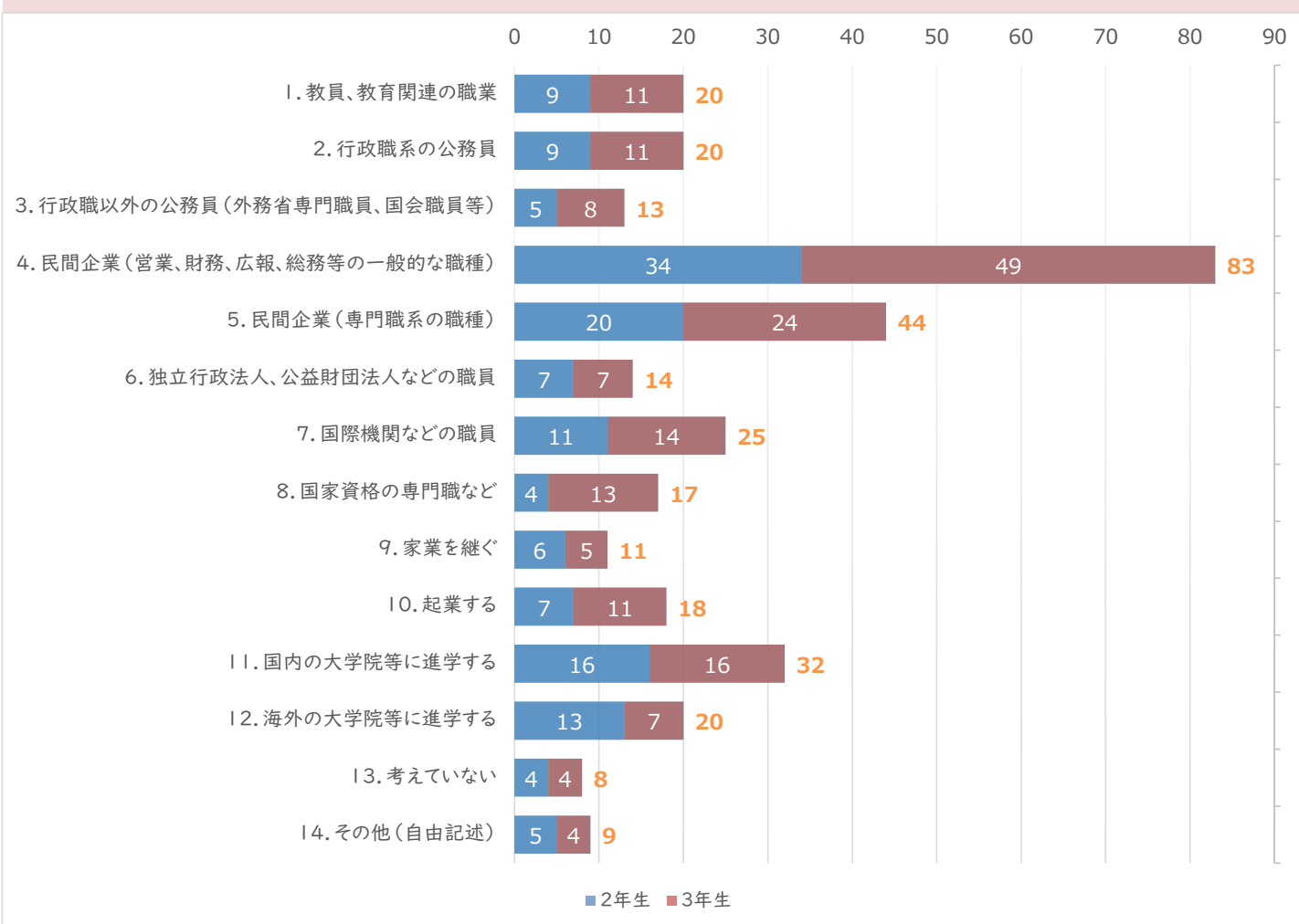
※学部別

(準備とは、具体的には国家試験を見据えた日々の勉強、自分の将来の専門性、研修先、キャリアプランを考えての情報収集、先輩に話を聞くなどを想定しています)



Q1-02. 将来どのような進路に進みたいですか。(複数選択可)

※学部別



【その他(自由記述回答)・抜粋】

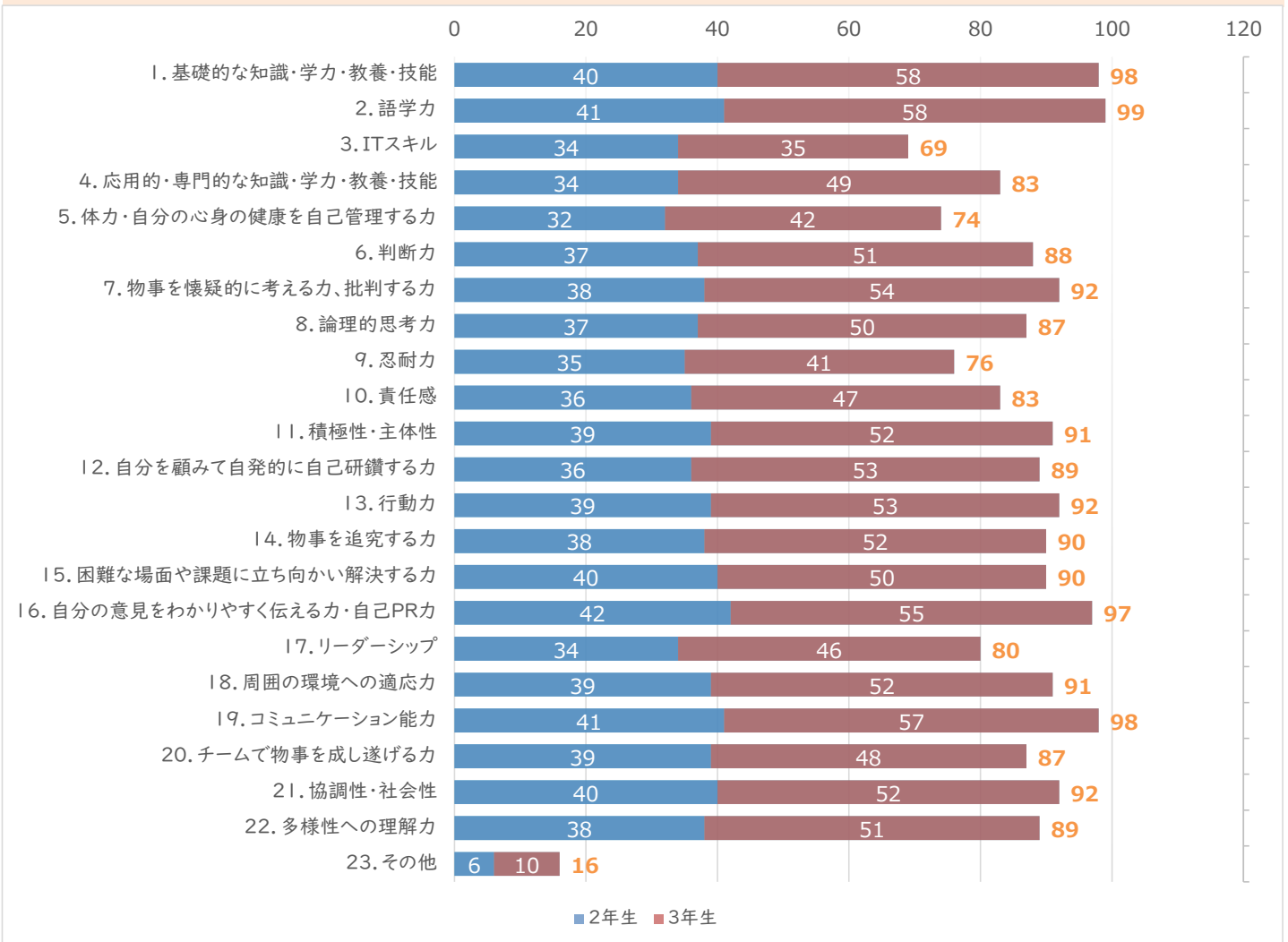
- ・ 海外でのワーホリ
- ・ 教員、不動産
- ・ プロ野球に携わる仕事かその中の通訳
- ・ システムエンジニア
- ・ 医学系
- ・ 客室乗務員

【1. 意欲に関する設問】

(続き)

Q1-03. 今後の大学生活で身につけたい力は何ですか。(複数選択可)

※共通



【その他（自由記述回答）・抜粋】

・ 研究力、論文執筆力

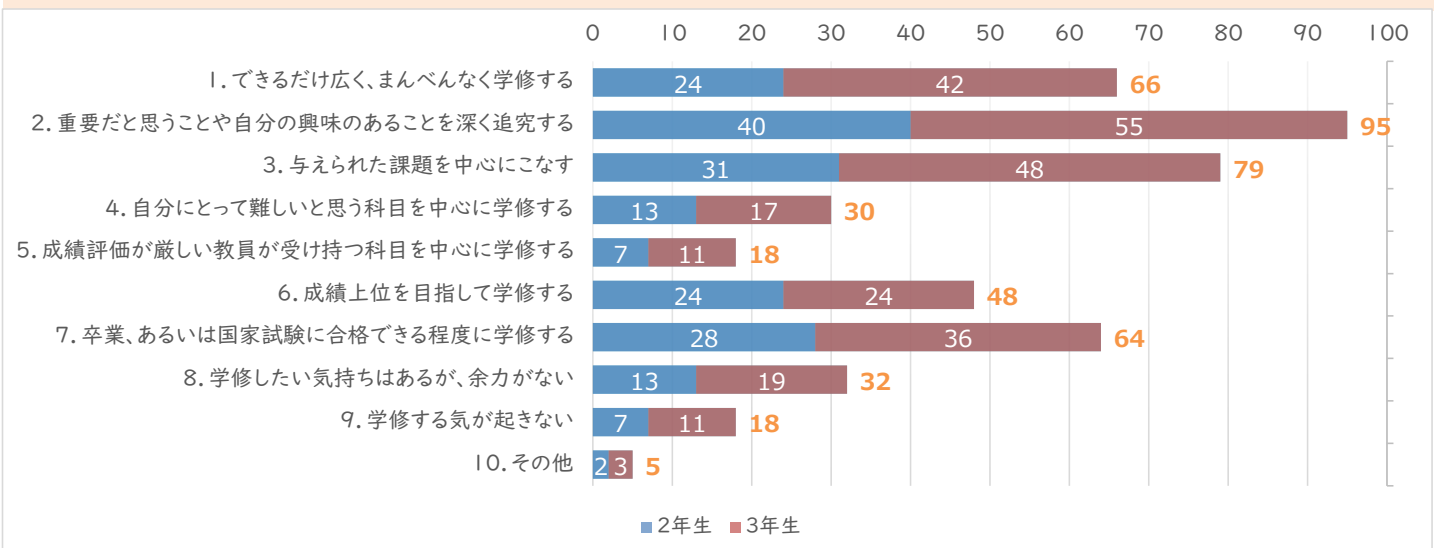
・ 語学力、判断力

・ コミュニケーション能力

・ ITスキル

Q1-04. 現在の、学修に対するスタンス（姿勢）として、当てはまるものはどれですか。(複数選択可)

※共通



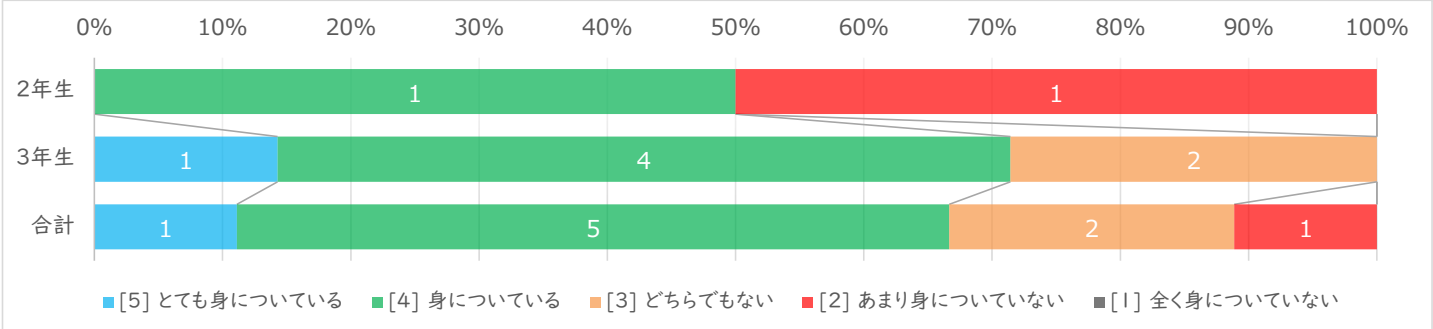
【2. 成長の実感に関する設問】

Q2-01. 以下は、国際教養学部のディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）です。
それぞれ、身についているかどうか、自己評価してください。

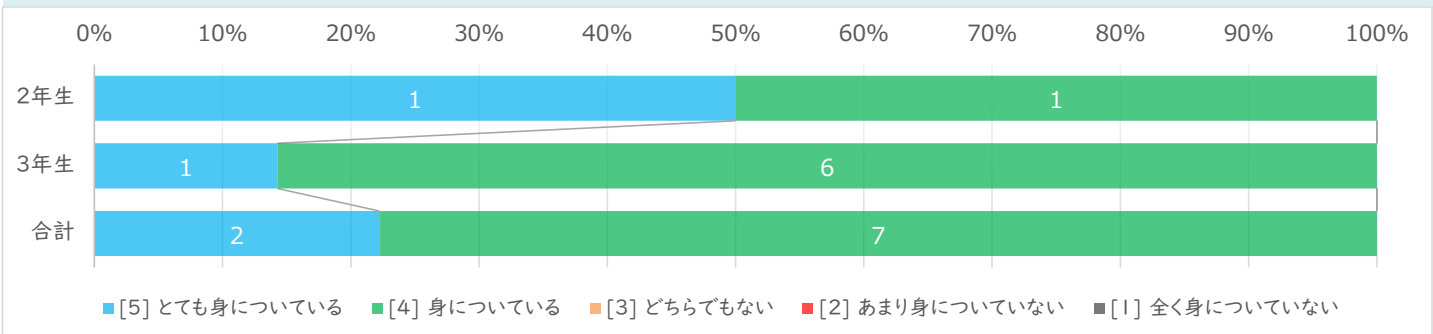
※学部別

<2021年度以前入学者>

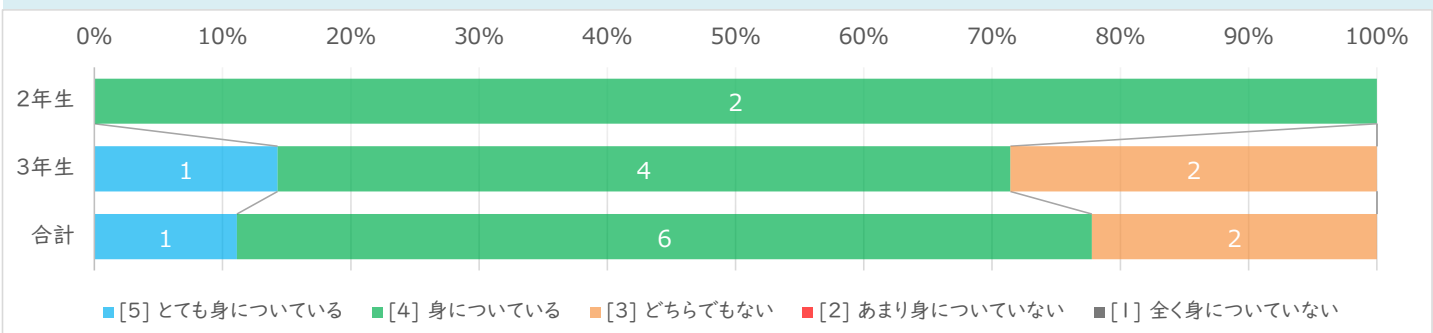
① グローバル化が進む国際社会における人間とその社会的、文化的な営みを包括的に理解するため、自然と人間、生命と健康、人間と社会、世界と日本など国際教養に関わる広範な知識を習得し、それらを統合し、活用する能力



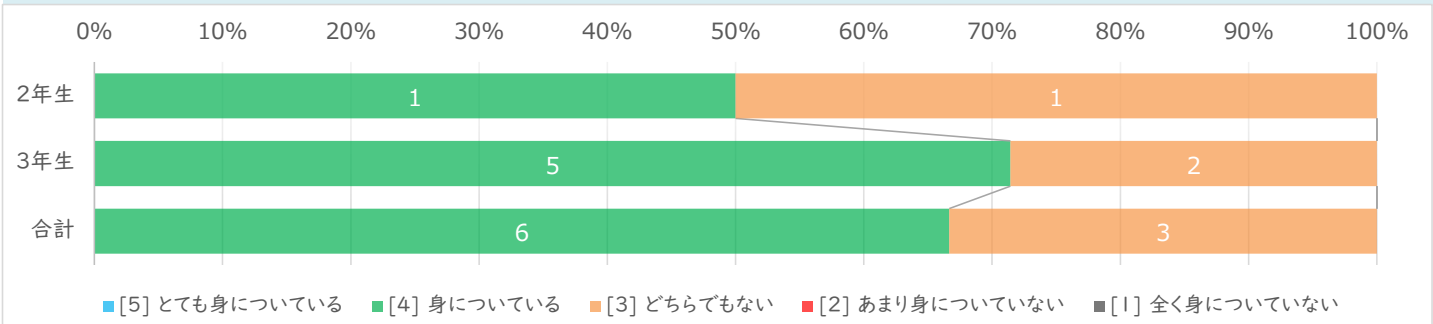
② 自分とは異なる人間や文化を理解しようと心を開き、多様性を尊重し、寛容さを持って相互交流を図ることのできる能力



③ 母語そして外国語でのコミュニケーション能力を駆使し、多様な人々と繋がり、自らの考えを論理的に説明し、相互の関係を築く能力



④ グローバル市民として活躍するための基盤となる国際的な教養に加え、文化を超えて活躍できる専門性（グローバル社会、異文化コミュニケーション、グローバルヘルスサービス領域）を備え、人類が直面する問題を発見し、解決策を探る多面的かつ柔軟な思考力と行動力



【2. 成長の実感に関する設問】

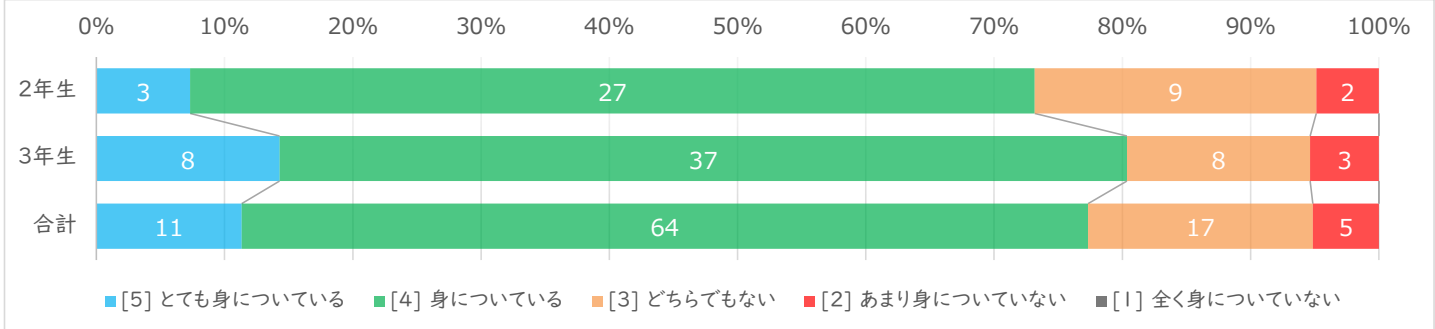
(続き)

Q2-01. 以下は、国際教養学部のディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）です。
それぞれ、身についているかどうか、自己評価してください。

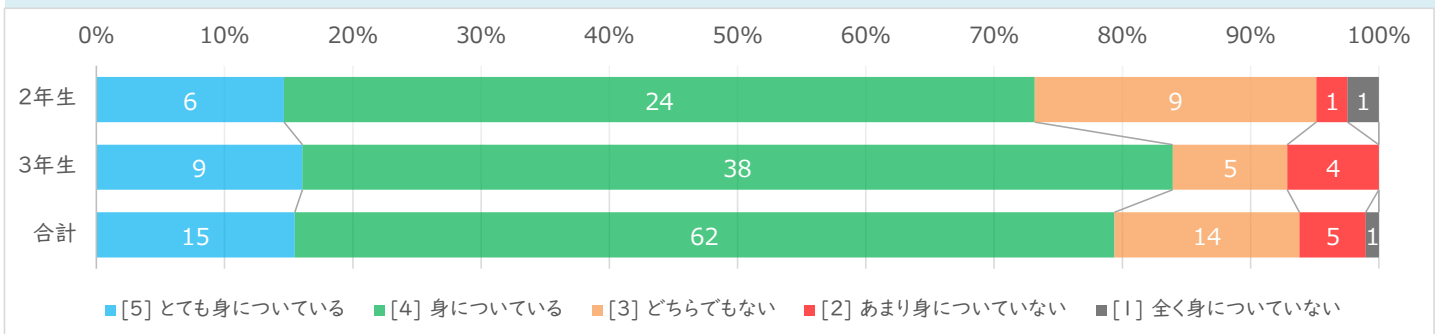
※学部別
(続き)

<2022年度以降入学者>

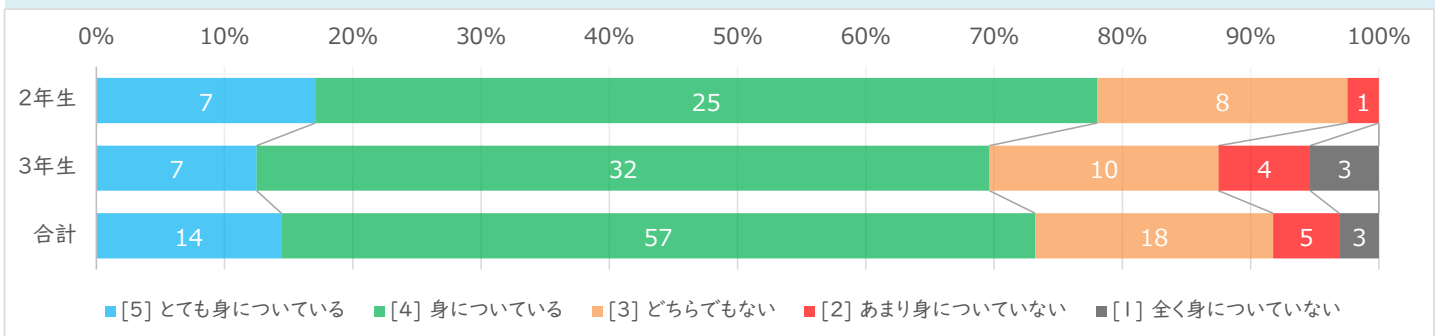
① グローバル化が進む国際社会における人間とその社会的、文化的な営みを包括的に理解するため、自然と人間、生命と健康、人間と社会、世界と日本など国際教養に関わる広範な知識を習得し、それらを統合し、活用する能力



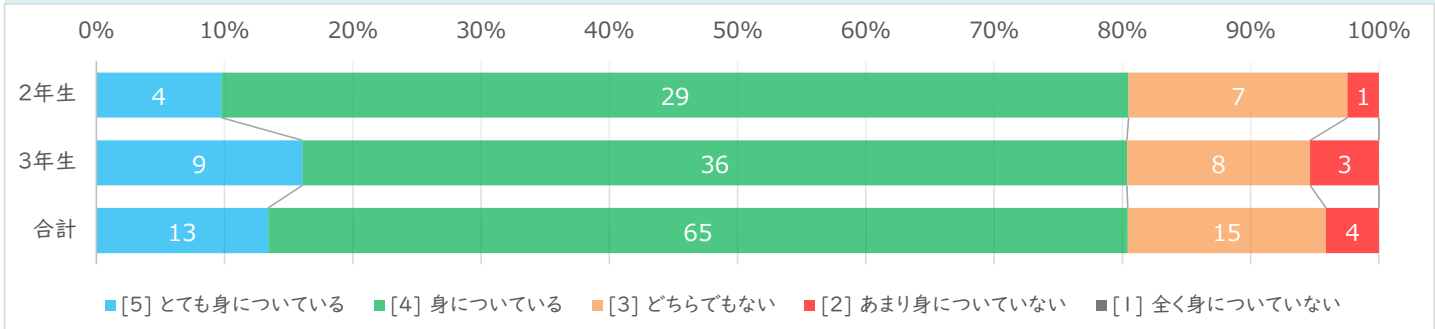
② 自分とは異なる人間や文化を理解する心を滋養し、多様性を尊重し、寛容さを持って相互交流を図ることのできる能力



③ 母語そして外国語でのコミュニケーション能力を駆使し、多様な人々と繋がり、自らの考えを論理的に説明し、相互の関係を築く能力



④ グローバル市民として活躍するための基盤となる国際的な教養に加え、文化の違いを超えて活躍できる専門性（グローバル社会、異文化コミュニケーション、グローバルヘルスサービス領域）を備え、人類が直面する問題を発見し、解決策を探る多面的かつ柔軟な思考力と行動力

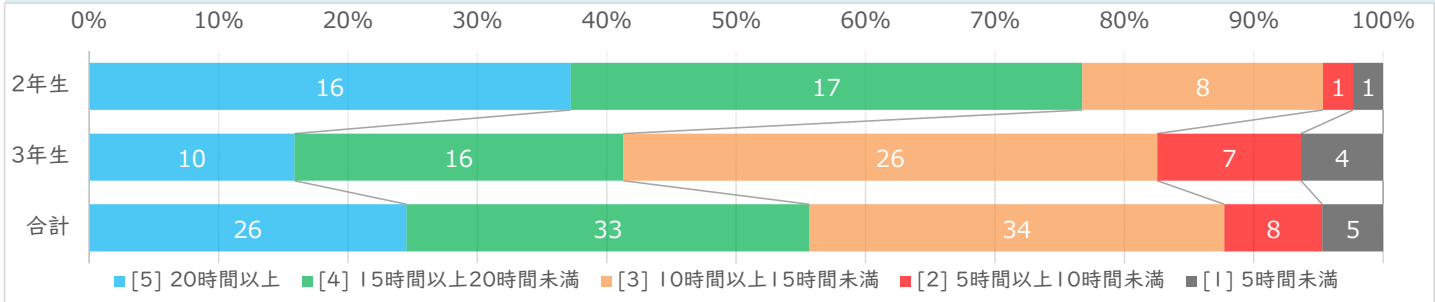


【3. 学修時間に関する設問】

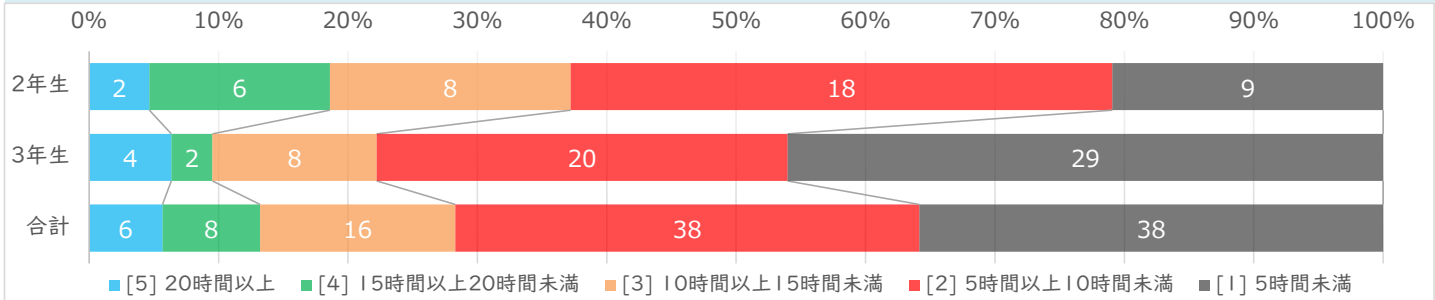
Q3-01. それぞれの学修時間に関する設問に対して、当てはまるものを選択してください。

※共通

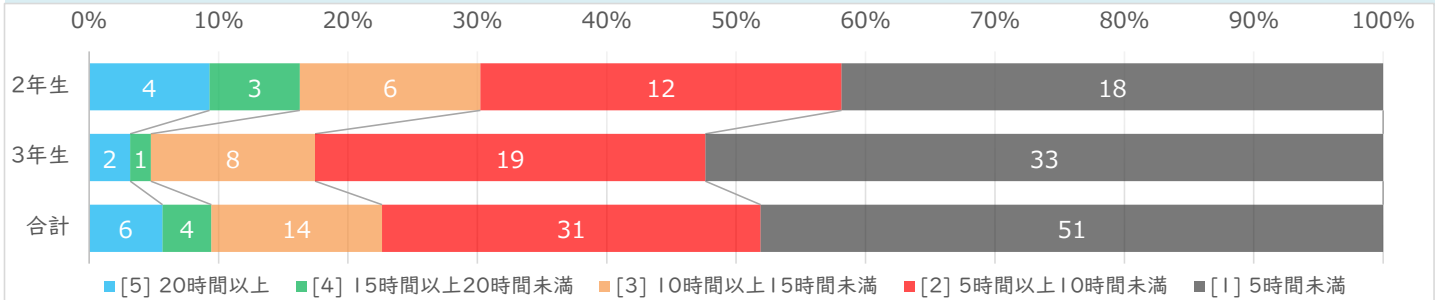
A. 授業・実習を受ける時間（1週間）はどの程度ですか。



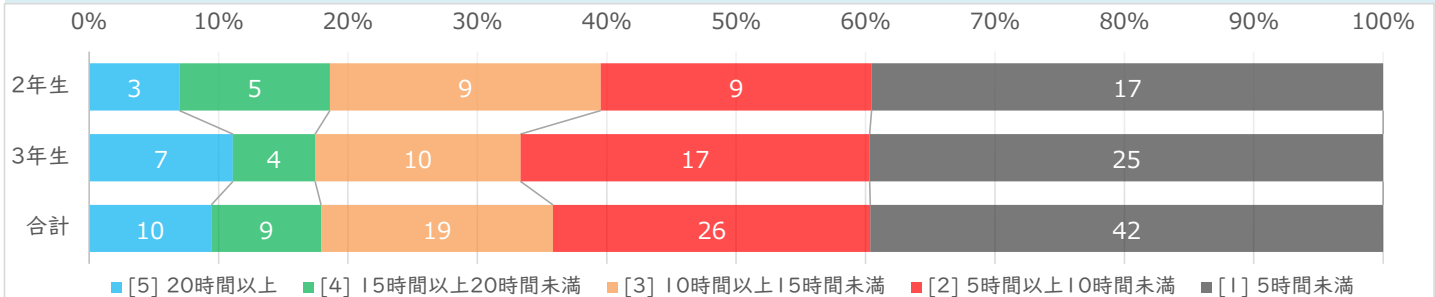
B. 予習・復習・期末試験勉強等の関連学習にかかる時間（1週間）はどの程度ですか。



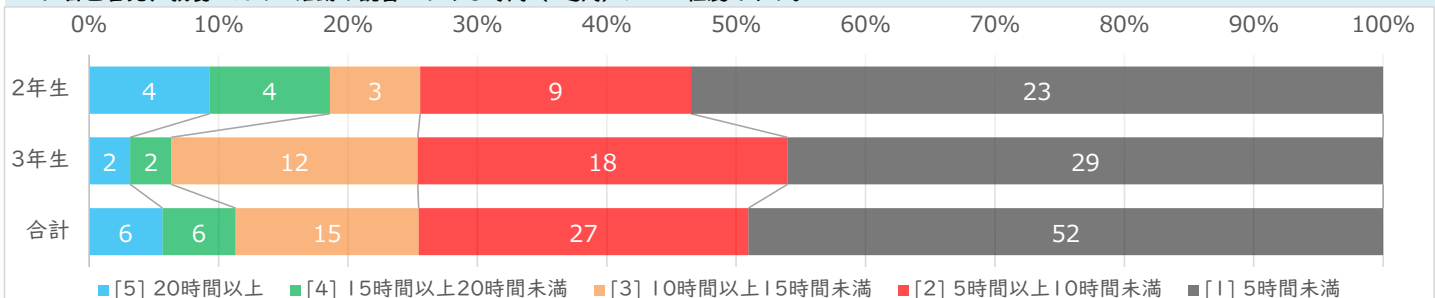
C. 授業の予習復習・試験対策ではない、自発的な学修にかかる時間（1週間）はどの程度ですか。



D. 資格試験（語学等）や国家試験のための学習にかかる時間（1週間）はどの程度ですか。



E. 自己啓発、教養のための活動や読書にかかる時間（1週間）はどの程度ですか。

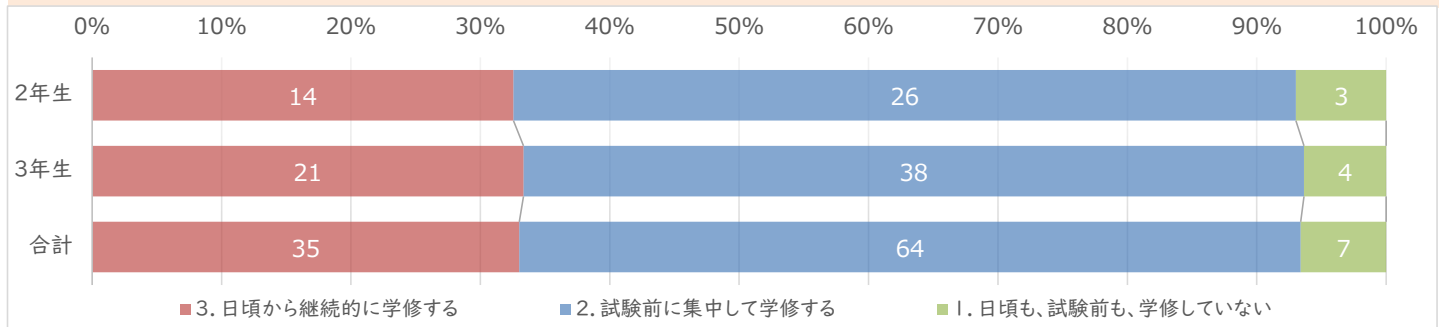


【3. 学修時間に関する設問】

(続き)

Q3-02. 日頃から継続的に学修しますか。試験前に集中して学修しますか。

※共通



End